

地域課題へどう取り組んだか

～お互いさまの地域づくり～



北部東地域包括支援センター

小林 奈美穂・松岡 里咲

2018/1/25

昨年度、
北部東包括は
お約束しました。





「認知症の人にやさしいまちづくり」 北部東これからの約束



- 認知症の本人と家族を支える認知症サポーターの養成を積極的に行います。
- キッズサポーター養成講座に継続して取り組みます。
- 徘徊模擬訓練を継続して実施します。新しい地区で取り組みをはじめます。
- さまざまな機会に認知症についての啓発活動を行います。
- 家族介護者教室を実施します。



これまでの取り組み

- ・認知症サポーターの養成

北部老人福祉センター・ふれ愛ふかや・まめじゃ会等

- ・キッズサポーターの養成

長島北部小学校・長島伊曾島小学校・大和小学校
深谷小学校・藤が丘小学校

- ・**声かけ訓練** 深谷地区(1回目)・新西方地区(3回目)

- ・認知症啓発 通いの場・老人クラブ・まめまめ教室

- ・家族介護者教室 第1回移乗 第2回排泄

- ・生き方セミナー 長島地区・大和地区

- ・**C団地の支援の輪ができるまで**

- ・桑名いきいき体操たけのこ編

- ・認知症初期集中支援チーム etc...

はじめに

認知症みんなが安心 声かけ訓練 in 深谷



昨年、深谷地区で
認知症の方が行方不明になる
悲しい出来事がありました。

深谷地区について

○地域別高齢者率 第1位

1,638人(36.05%) (市平均25.1%)

○要介護認定者数 第1位

296人(18.01%) (市平均14.09%)

○徘徊SOSネットワーク登録数 第7位

9件(全登録者177件)

※小学校区別順位

徘徊SOSは65歳以上人口あたりの割合を計算

私たちの地区で
繰り返してはならない！



深谷地区で
徘徊模擬訓練をやりたい！

高齢者見守りネットワーク会議、民協定例会、
連絡調整会議で開催したいという意見があがる

開催までの準備＜3ヶ月前＞



H29年7月26日
認知症サポーター養成講座(声のかけ方を実演)を開催



包括内で地域資源を確認



開催までの準備 <2ヶ月前>



H29年8月8日
第1回 打合せ

住民の声で
決まっていきます！

ルート設定、協力機関、当日の役割、
チラシの構成、広報の仕方

H29年9月14日
第2回 打合せ
当日の練習、チラシ配布の確認等



“住民が主役”の
徘徊模擬訓練



開催までの準備 <1ヶ月前>

H29年9月18日
新西方の声かけ訓練に参加

深谷オリジナル



←注目！

新西方の声かけ訓練に参加した感想住民の方からいただき、声かけ訓練の趣旨や目的を書いたものを作りました。

声かけ訓練当日①

東と西の2ルート
スタッフ 23人参加

民生委員・通いの場スタッフ・
健康推進員・老人クラブ・警
察・市役所・社協・包括



地域の商店や公共機関
27ヶ所に協力いただきました。
三岐鉄道にも協力いただき
下深谷駅でも声かけ実施。



声かけ訓練当日②

皆様のご協力で
大成功！



合計**35名**の方に声を
かけていただきました！

参加した住民・商店から

徘徊模擬訓練
を継続して
やりたい！

私達にも
できること
がある

認知症の
理解が
深まった

もっと多くの人に
声かけ訓練に参加
してもらいたい



みんなが安心して
暮らせる地域にしたい

1か月後

深谷地区のある家族から
「母がいなくなった」と連絡がありました。

Aさん(81歳 女性 要介護1)



- 4人暮らし(本人、長男夫婦、孫)
日中独居
- アルツハイマー型認知症 健脚
- 徘徊SOS登録・ステッカー交付済
- デイサービス 週3回利用
- 散歩と言って出かけてしまうことが多かった
- 家族:危機感がなく認知症への理解が低い

共有

Aさんの支援

- ・ケアマネジャーから聞き取り
- ・支援調整会議を開催 多職種連携



地域で見守る
支援体制づくりが必要

徘徊模擬訓練で協力してもらった商店へお願いしよう！

実行

Aさんの支援



徘徊模擬訓練でお世話になった
商店へ情報発信票を持って
行き、見守りをお願いしました。

徘徊SOS緊急ネットワーク事業に
ついて説明し、登録にご協力
いただきました。



次に

C団地の支援の輪ができるまで



Bさん(80歳 女性 介護保険未申請)



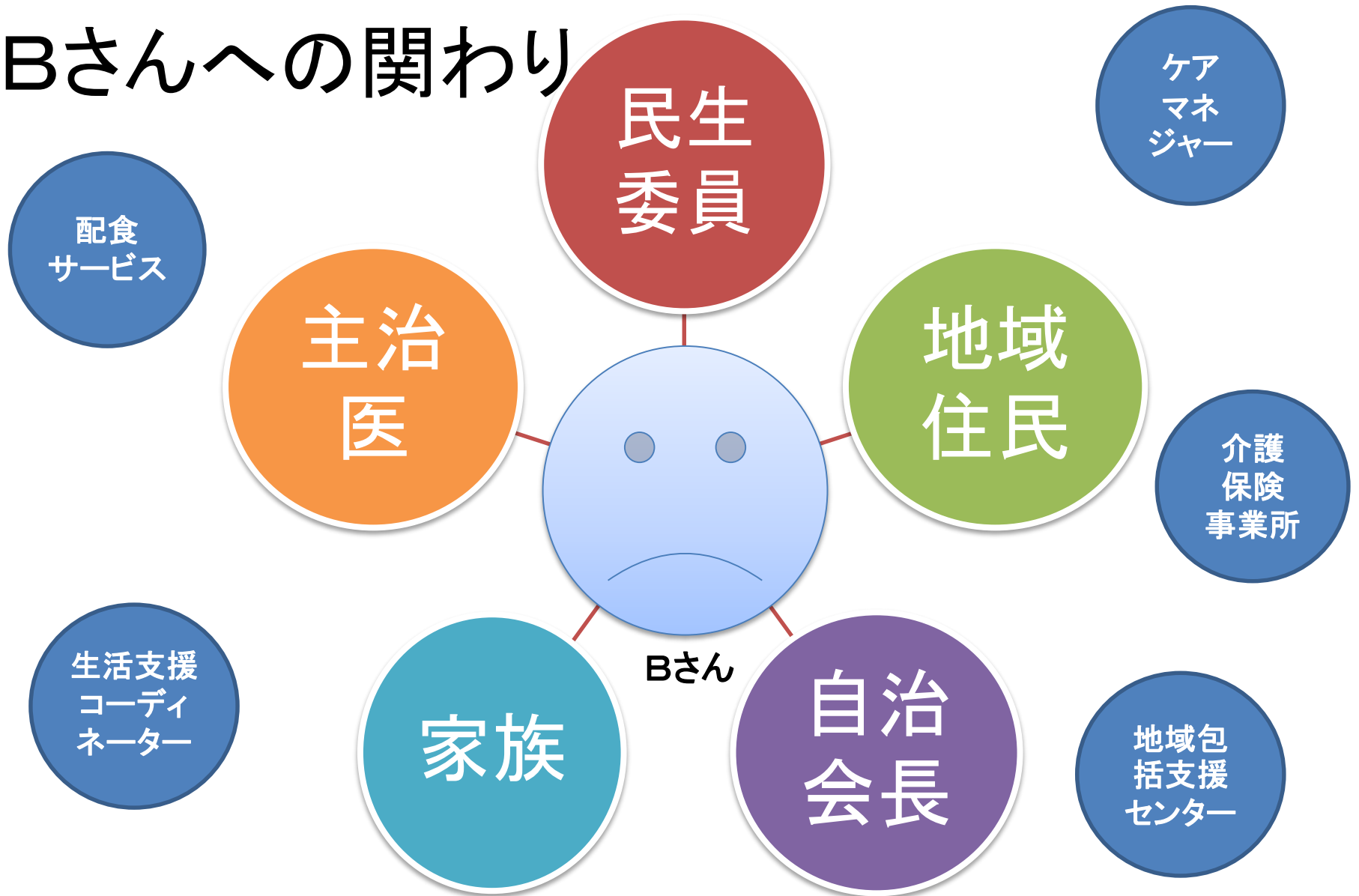
- ・戸建で一人暮らし
- ・お琴教室へ通い、お友達とも交流がある
- ・几帳面な性格
- ・お買い物大好き
- ・他市から息子が定期的に見守りにきてくれる



ある日、民生委員が訪問すると・・・

- ・室内が物で溢れ返っている
- ・数年前トラブルが原因でお琴の教室へ行かなくなった
- ・仲の良かった友人から「つかまると話が長いから...」と敬遠される
- ・配食サービスを自ら断る

Bさんへの関わり



→それぞれがバラバラに本人を支援

掃除をする中で、見えてきたこと

- 部屋の中は足の踏み場がない
- 入浴や調理をしている様子がない
- 現金がいたるところから見つかる
- 食品や高級化粧品が未開封のまま山積み



Bさんらしい生活はどこへ...

Bさんの支援を通して気づいたこと

高齢化率 → 34.9% (市平均25.1%)

認知症サポーター養成講座開催回数 → 0回

高齢化の進行

不足

認知症の啓発



支援者が上手くつながらない原因に

共有

Bさんの支援

家族は気付いているのかな

お金の管理はできているのかな

主治医へ現在の
情報提供が必要だ

民生委員さんにも
伝えよう

どんなサービス
が必要かな

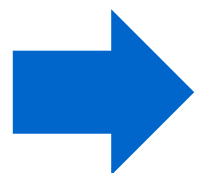
食事はきちんと
食べているのかな



実行

Bさんの支援

- ・介護保険申請
- ・家族への連絡
- ・主治医への情報提供
- ・ケアマネジャーの紹介
- ・サービス担当者会議
- ・民生委員、近隣住民との情報共有
- ・配食サービス定着の支援



様々な人の関わりで、サービス導入へ

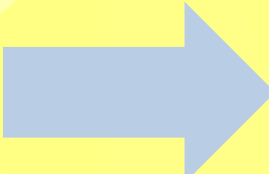


私たちが目指すもの

- 個別の支援を通して
築き上げたネットワークで
更なる課題も解決できる地域へ

私たちが目指すもの

ひと

他人ごと  我がごと

お互いさまの地域づくり

これからの取り組み①

顔の見える関係を作ります

- ・民協定例会
- ・深谷連絡調整会議
- ・高齢者相談員情報交換会
- ・イベントへ参加



ハウ レン ソウ
報告・連絡・相談！
情報共有し連携します！



これからの取り組み②

地域にうかがいます

- ・介護予防教室
(まめじゃ会 ・老人クラブ・通いの場)
- ・個別訪問
- ・北部東圏域の地域包括ケアを考える会
(社会資源の発掘)



地域包括支援センターは
高齢者の相談窓口であることを
知ってもらいます



これからの取り組み③

認知症の啓発に取り組みます

- ・認知症サポーター養成講座
- ・キッズサポーター養成講座
- ・徘徊模擬訓練



長島地区で

徘徊模擬訓練を開催します



ご清聴ありがとうございました

